

人事交流地域区分の交流

学校別・管内別	A→C	B→C	C→A	C→B	C→C	計	交流合計
小学校	管内	36	84	77	131	37	365
	管外	18	50	18	31	24	141
中学校	管内	34	59	53	53	12	211
	管外	23	39	21	33	17	133
養護学校	管内	—	—	—	—	—	10
	管外	—	—	1	—	—	4
計	管内	70	143	130	184	49	1,995
	管外	41	89	40	64	41	275
計	計	111	232	170	248	90	2,681

② へき地派遣教員

都市、または平地の小学校・中学校に勤務する教員のうち、とくにへき地教育に熱意を有する成績優秀な中堅教員を選考し、計画的にへき地学校に派遣し、その教育実践をとおしてへき地教育の振興に役立て、当該教員が相当期間勤務し、その勤務成績が良好の場合は抜てき人事等の優遇措置を講ずることとした。相当期間とは3年間である。

ちなみに昭和44年度末人事における派遣校は下表のとおりである。

へき地派遣教員派遣校名一覧

管内名	地区名	昭和40末		昭和41末		昭和42末		昭和43末		昭和44末								
		派遣校	派遣の地区	派遣校	派遣の地区	派遣校	派遣の地区	派遣校	派遣の地区	派遣校	派遣の地区							
県中	岩瀬			羽湯	鳥本	小田	村夫			湯本	相馬							
	石川			大久田	小岩	瀬論	田西	大白	河大	久田	田村							
	田村			古道	小郡	山都	路一	中岩	瀬古	道小	岩瀬	都路	一西					
県南	東白川			青生野	小岩	瀬片	貝小	田村	真名	畑小	西白	河山	青生野	伊達				
	耶麻	奥川	中北	会津	奥川	小原	中両	沼両	裏磐	梯小	奥川	中伊	達山	奥川	中郡			
会津	両沼	喰丸	小北	会津	中下	津川	小西	山小	耶麻	北会	津沼	小北	会津					
	南会津	朝日	小麻	津沼	館岩	小伊	南南	会津	朝日	小伊	達麻	上郷	小南	両沼	安明	和北		
相双	相馬	小宮	小	いわき	飯樋	小	双葉	長泥	小飯	樋中	双葉	いわき	比曾	小	いわき			
	双葉	葛尾	小川	内中	いわき	相馬	津島	二小	相馬	葛尾	小葛	尾中	いわき	津島	小	いわき	葛尾	小
いわき	いわき	田人	二小	相馬	見泊	小	双葉	見泊	中	双葉	見泊	小	双葉	見泊	小	双葉	見泊	小
小学校		6			13			10			12			4				
中学校		5			4			7			3			2				
計		11			17			17			15			6				

なお、昭和42年度末の派遣教員はそれぞれ管理職資格考査を受考し適格者の認定を受け16名が教頭として転出した。

③ 昇任の場合の資格要件

校長に昇任させる場合に、へき地学校2年、または農山村5年以上の経験を有することが必須の資格条件とされ、また、「管理職資格選考試験」の受験資格条件もへき地、または農山村の経験を有することとされたためにへき地学校へ優秀な教員が転入するようになってきている。

(2) へき地学校教職員の経済的優遇策

へき地学校に勤務する教職員が、安定してその職責を遂行できるようにという配慮と、へき地学校に優秀な教職員を配置する目的をもって、次のような経済的優遇措置がとられた。

① 研修旅費の支給

へき地学校勤務教職員の研修旅費として人事委員会指定校に勤務する教員1人に対し、4,000円、また、分校に勤務する教員1人に対し、3,000円が支給された。

② 4、5級地の学校に赴任する新採用教員に対する赴任旅費の支給。